

基本目標3

誰もが安心して暮らせる都市 ① 治水・防災



本施策で目指す SDGs



目指す姿

自然災害等に対する対応力が強化された強くしなやかな都市
市民の防災意識が高まり、家庭や地域で災害に対する備えができていく都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
各種団体との災害応援協定の締結件数 (協定・覚書の数)	累計件数	74	85
防災訓練等参加者	人/年	400	1,500
消防団員数	人	238	257
住宅の耐震化率	%	80	95

満足度・重要度 ※市民意識調査 (R6) より



治水・防災

満足度	重要度
3.11	4.34

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに高くなっています。

地震や水害等の自然災害に対して市民の生命が保護され、被害を最小限に抑えられるよう、市民意識の向上と防災体制の充実・強化を図っていく必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 防災体制の充実</p> <p>◇市の防災組織体制や災害時の外部応援体制を充実します。</p> <p>◇防災情報等の発信手段の多様化や情報内容を充実します。</p> <p>◇国等の支援制度も活用しながら避難所や防災備蓄倉庫へ非常用物資及び資機材を充実します。</p>	<p>○各種団体との災害応援協定の締結</p> <p>○避難所支援システムの整備</p> <p>○ハザードマップの更新及び地域防災計画の改正</p> <p>○指定避難所のトイレ環境の整備</p> <p>◎備蓄資機材及び食料の充実【重】</p>
<p>2 地域防災力と防災意識の向上</p> <p>◇自治会、自主防災組織等への防災研修等の開催、防災訓練の実施等を支援します。</p>	<p>○各種防災訓練、研修等の実施</p> <p>○自主防災組織への支援</p> <p>○防災士の育成・支援</p>
<p>3 消防団員の確保</p> <p>◇団員の高齢化や減少を踏まえ、女性や学生、外国人等も対象とした多様な団員を確保します。</p>	<p>◎団員確保対策（PR 事業等）の実施【重】</p> <p>○関係機関への協力依頼</p> <p>○女性・学生消防団員の募集</p>
<p>4 治水事業の推進</p> <p>◇犀川流域を中心とした治水対策を進めます。</p>	<p>◎河川改修・犀川遊水地事業【重】</p> <p>○木曾川水系河川整備計画に基づく水防拠点の整備</p>
<p>5 災害に強い住環境の整備</p> <p>◇住宅の耐震性向上等のための耐震診断や補強工事等への支援を行います。</p> <p>◇住宅内における市民の生命を守るための空間を確保できる装置への支援を行います。</p> <p>◇避難路沿いに面する危険なブロック塀撤去等への支援を行います。</p>	<p>○建築物等耐震化促進事業</p>

主な関連計画

- 瑞穂市地域防災計画
- 瑞穂市国民保護計画
- 瑞穂市国土強靱化地域計画
- 瑞穂市水防計画
- 瑞穂市緑の基本計画
- 犀川遊水地グリーンインフラ基本構想
- 瑞穂市耐震改修促進計画
- 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標3

誰もが安心して暮らせる都市 ② 防犯・交通安全



本施策で目指す SDGs



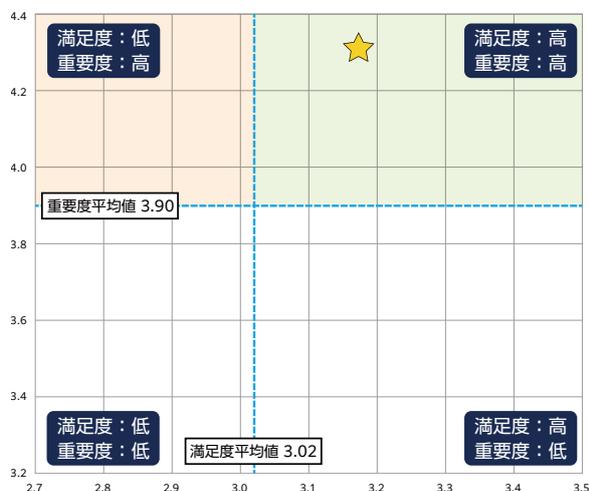
目指す姿

市民を犯罪から守る体制が充実している都市
交通安全に対する市民意識の高揚や安全対策の推進により、交通事故の少ない都市
市民が安心して消費生活を営むことができる都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
交通安全出前講座・防犯出前講座の開催日数	日/年	151	155
街路灯設置数	基	4,890	4,950
青色回転灯防犯パトロール活動（貸出による活動を含む。）	回/月	8	15

満足度・重要度 ※市民意識調査（R6）より



防犯・交通安全

満足度	重要度
3.17	4.31

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに高くなっています。

広域化・特殊化した犯罪が身近に起こる事例も全国的に見られることから、市民が被害を受けたり犯罪に巻き込まれたりすることがないように、常日頃から市民・地域・関係団体等との連携を強化していく必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 防犯・交通安全啓発活動</p> <p>◇こどもや保護者、高齢者を中心に、防犯及び交通安全の出前講座等を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全出前講座 ○防犯出前講座 ○運転免許証自主返納の推進 ○交通安全協会と連携した啓発活動
<p>2 防犯環境の充実</p> <p>◇街路灯の適正な配置により、夜間の防犯環境を充実します。</p> <p>◇防犯対策強化のため、必要に応じて防犯カメラを設置し、犯罪の発生を抑制します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○街路灯設置事業 ○防犯カメラ設置事業
<p>3 青パト活動の規模拡大</p> <p>◇朝日大学の学生や防犯ボランティアの方々の協力による防犯パトロールを実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○青色回転灯防犯パトロール活動 ○青色回転灯防犯パトロール車貸出事業
<p>4 自転車盗難防止</p> <p>◇北方警察署、防犯協会、朝日大学等と協力し、啓発チラシの配布や駐輪場への注意書きの掲示を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○協力団体との啓発活動
<p>5 交通安全対策の推進</p> <p>◇カーブミラーや転落防止柵等の施設を充実します。</p> <p>◇一時停止等の交通規制実施について、積極的に県公安委員会に働きかけます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全施設等整備事業 ○警察・公安委員会に対する要望活動
<p>6 消費者行政、特殊詐欺対策の推進</p> <p>◇消費者被害の情報を市民に周知・啓発するとともに、消費生活相談員による相談事業を実施し、消費者被害を防止します。</p> <p>◇日々巧妙化する特殊詐欺の手口について市民に迅速に周知するとともに、警察や地域と連携し、被害にあわないための対策を強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会における消費者問題解決力の強化に関する事業 ◎特殊詐欺防止啓発活動【重】

主な関連計画

- 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標3

誰もが安心して暮らせる都市

③ 都市基盤



本施策で目指す SDGs



目指す姿

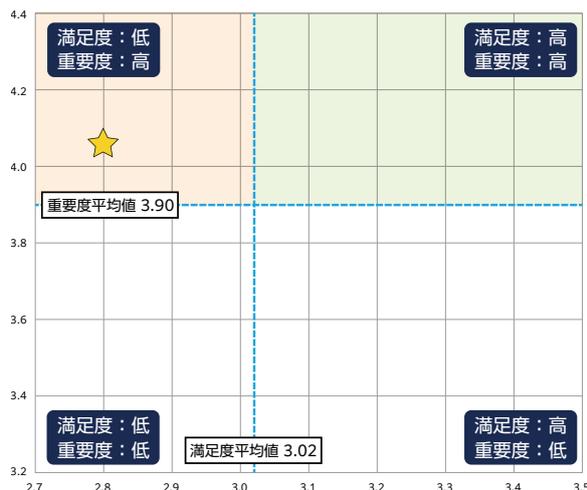
適正な土地利用を推進し、市民が快適に生活できる都市

穂積駅周辺整備により、利便性が高く魅力的な空間が形成された都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
駅利用者の満足度	%	19.9	30.0
都市公園等面積（1人当たり）	m ²	10.9	11.1

満足度・重要度 ※市民意識調査（R6）より



都市基盤

満足度	重要度
2.80	4.07

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度は低く重要度は高くなっています。

市民が安心して暮らせるとともに、活力や賑わいを創出し、多様な交流を促進するため、社会インフラの整備や土地の有効活用を進め、都市機能の強化や住環境の向上に努める必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 市全体の総合的かつ計画的な土地利用の推進</p> <p>◇社会情勢の変化に対応した計画的な都市づくりを推進するため、都市計画に関する基本的な方針である都市計画マスタープラン等の計画を適宜改定します。</p> <p>◇幹線道路沿道での企業誘致をはじめ、都市の活力を維持し、持続的な発展を図る上で必要が高いものについては、まちづくり方針に応じた適切な市街地の配置を検討します。</p> <p>◇コンパクト・プラス・ネットワークの構築に向けて、きめ細やかな土地利用を進めます。</p>	<p>○都市計画マスタープランの改定</p> <p>○立地適正化計画の策定</p> <p>○都市計画道路の見直し</p> <p>○地区計画の策定</p> <p>○用途地域の見直し</p>
<p>2 都市基盤の整備</p> <p>◇生活の拠点となる魅力ある商業地や住宅地の形成に向けた道路や駅前広場等の都市基盤を整備します。</p>	<p>○土地区画整理事業</p> <p>○地籍調査事業</p>
<p>3 穂積駅周辺の整備</p> <p>◇駅前広場や道路の機能強化と健全な市街地形成を目的に穂積駅周辺の土地区画整理や駅前広場等の整備を推進します。</p>	<p>◎穂積駅南土地区画整理事業【重】</p> <p>◎穂積駅北駅前広場周辺機能改善事業【重】</p>
<p>4 集いの場整備</p> <p>◇地域住民や企業との連携により憩いとうるおいをもたらす良好な都市環境の整備を推進します。</p> <p>◇公園の適切な保全管理、使用のルールの見直し等を進めて、子どもの遊び場や地域住民の交流の場となる取組を推進します。</p>	<p>○公園・緑地等整備事業</p> <p>◎犀川遊水地グリーンインフラ事業【重】</p>
<p>5 空家等対策の推進</p> <p>◇空家等の所有者、地域、民間事業者等と連携し、空家等に関する取組を推進します。</p>	<p>◎空家等対策事業【重】</p>
<p>6 景観計画の策定・推進</p> <p>◇景観計画の策定により、良好な景観の保全、形成に関する取組を推進します。</p>	<p>○景観計画策定事業</p>

主な関連計画

- 瑞穂市都市計画マスタープラン
- 瑞穂市緑の基本計画
- 瑞穂市こども計画
- 瑞穂市 JR 穂積駅周辺整備基本計画
- 犀川遊水地グリーンインフラ基本構想
- 瑞穂市空家等対策計画
- 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標3

誰もが安心して暮らせる都市

④ 交通基盤



本施策で目指す SDGs



目指す姿

主要幹線道路の整備により、都市間移動の利便性が高い都市
 市民の移動手段が確保・維持される都市
 生活に必要な市内の道路、歩道、橋梁が整備された都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
コミュニティバス利用者数	人/年	132,786	145,000
穂積駅乗客数	人/日	8,753	9,500
自転車歩行者道整備事業	km	29	30
橋梁長寿命化修繕率	%	56	74

満足度・重要度 ※市民意識調査 (R6) より



交通基盤

満足度	重要度
2.87	4.11

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度は低く重要度は高くなっています。

市民生活の利便性と質の向上をはじめ、市外からのアクセス向上のためにも、公共交通の確保や道路網の整備による交通基盤の充実に取り組む必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 道路ネットワーク網の整備</p> <p>◇都市の活性化に寄与する広域的かつ機能的な道路交通体系を構築します。</p>	<p>○国・県道整備事業</p> <p>○街路整備事業</p> <p>○都市計画道路の見直し（再掲）</p>
<p>2 公共交通の利便性向上</p> <p>◇鉄道及びバスの運行時間の相互調整や駅前広場・駅へのアクセス道路等の整備により交通結節点の機能強化を図ります。</p> <p>◇地域公共交通協議会、アンケート調査等を通して市民の移動ニーズを把握し、路線体系の見直しも含め最適な公共交通体系の構築を目指します。</p>	<p>○公共交通運行事業</p> <p>◎地域公共交通計画の策定【重】</p>
<p>3 市内幹線道路・生活道路の整備</p> <p>◇市内幹線道路や歩行者、自転車等の通行に配慮した道路を整備します。</p> <p>◇経年により老朽化する道路、歩道、橋梁を適正に維持・管理します。</p>	<p>○幹線道路網整備事業</p> <p>○交通安全施設整備事業</p> <p>○自転車歩行者道整備事業</p> <p>○橋梁長寿命化修繕事業</p>

主な関連計画

- 瑞穂市道路網整備計画
- 瑞穂市公共施設等総合管理計画
- 瑞穂市長寿命化修繕計画
- 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標3

⑤ 誰もが安心して暮らせる都市 上水道・下水道



本施策で目指す SDGs



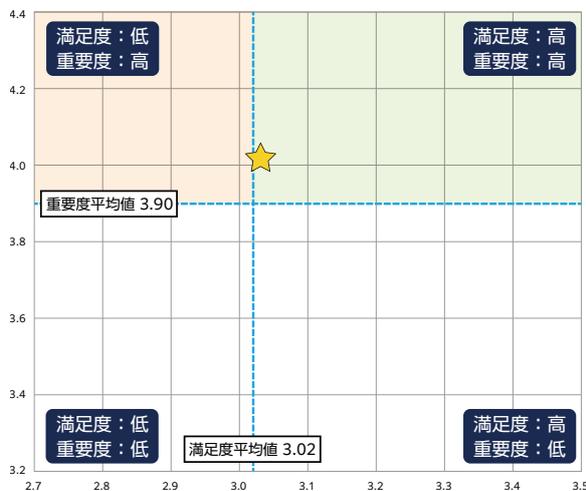
目指す姿

安全な水が安定して供給される都市
下水道事業により汚水が適切に処理される都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
上水道有収率	%	81.7	85.6
重要給水施設配水管耐震化率	%	77.0	89.3
汚水処理人口普及率	%	62.3	67.8
下水道人口普及率	%	7.1	26.3

満足度・重要度 ※市民意識調査 (R6) より



上水道・下水道

満足度	重要度
3.03	4.02

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに高くなっています。

近年、全国的に上下水道の敷設管の老朽化による破損事故が相次いでいます。市民の命と暮らしを支える上水道の安定供給と下水道事業のあり方を周知し、持続可能な経営体制を整えていく必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 適正な水質確保</p> <p>◇水道水が水質基準に適合し安全に利用できることを確認する水質検査を継続的に実施します。</p>	○水質適正管理事業
<p>2 経営戦略の推進</p> <p>◇水道事業の今後の施設更新需要を踏まえ、業務の効率化を行うとともに、使用者の適正負担による安定的な収入の確保を図り、持続可能な財政基盤を確立します。</p> <p>◇下水道事業の今後の区域拡大や改築更新を見据え、水洗化の普及等による収入の確保を図り、持続性を向上させる事業を行います。</p>	○経営戦略推進事業
<p>3 上水道有収率の向上</p> <p>◇漏水箇所を発見し速やかに修繕することにより、給水量に対し有効に使用された水量の割合を示す有収率の向上につなげます。</p>	○漏水調査事業
<p>4 水道施設（水源地内管路、重要給水施設管路）の耐震化</p> <p>◇上水道システムの急所施設である水源地や災害時の拠点となる重要給水施設（避難所等）までの管路耐震化を計画的かつ着実に推進します。</p>	<p>◎水源地内管路耐震化事業【重】</p> <p>◎重要給水施設管路耐震化事業【重】</p>
<p>5 災害時応急給水体制・応援給水体制の整備</p> <p>◇災害時の応急給水に備えた資機材（給水車、給水栓等）の整備を進めます。</p>	○災害時応急給水・応援給水資機材等備蓄整備事業
<p>6 汚水処理施設の整備</p> <p>◇公共下水道区域の拡大を進めます。</p> <p>◇下水道未供用区域については、浄化槽の設置を促進します。</p>	<p>◎公共下水道事業【重】</p> <p>○浄化槽設置整備事業</p>
<p>7 下水道施設の維持管理</p> <p>◇下水処理場は、経過年数に応じた予防保全を行い適切な維持管理を実施します。</p> <p>◇下水道管は、定期的な点検を実施し施設の延命を図ります。</p>	○下水処理場及び下水道管の維持管理

主な関連計画

- 瑞穂市水質検査計画
- 瑞穂市水道事業ビジョン
- 瑞穂市国土強靱化地域計画
- 瑞穂市都市計画マスタープラン
- 瑞穂市公共下水道全体計画
- 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標3

誰もが安心して暮らせる都市
⑥ 自然・衛生環境



本施策で目指す SDGs



目指す姿

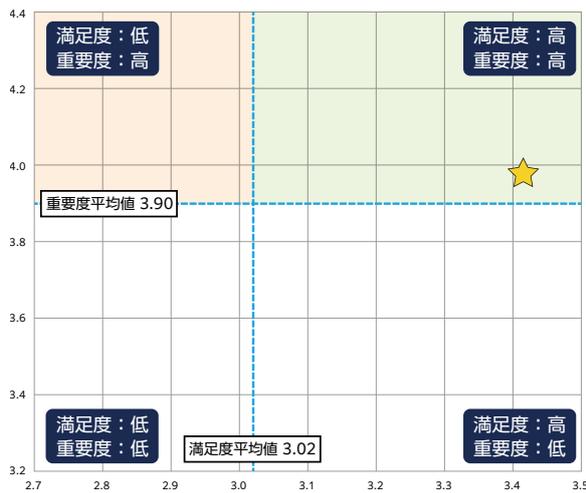
市民一人ひとりに環境保全の意識が根づいている都市
持続可能な環境保全に向けた「循環型社会」が確立された都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
環境美化教育及び啓発（リサイクル率）	%	31.4	32.3

満足度・重要度

※市民意識調査（R6）より



自然・衛生環境

満足度	重要度
3.41	3.98

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに高くなっています。

子どもから高齢者まで、世代を問わず環境問題に関する意識を高め、循環型社会の形成や脱炭素等の地球温暖化対策に取り組むことで、市民とともに環境に優しいまちづくりに取り組む必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 収集・回収への対応</p> <p>◇市民の利便性向上のため、粗大ごみと資源ごみの持込拠点を整備し、運用方法の見直しを行います。</p> <p>◇生ごみの堆肥化・乾燥化による減量を推進します。</p> <p>◇高齢化の進展に対応したごみの排出支援体制を構築します。</p> <p>◇一般家庭から排出される廃食用油を回収し資源化を行います。</p> <p>◇災害時の廃棄物処理について被害の状況を把握した上で、地域に存在する資機材、人材、廃棄物処理施設等を活用して処理を進めます。</p>	<p>○廃棄物排出体制事業</p> <p>○生ごみ処理容器購入補助事業</p> <p>○粗大ごみ、資源回収拠点整備事業</p>
<p>2 不法投棄等の防止</p> <p>◇不法投棄の抑止に向けて、警察との連携及び地域住民との情報共有を図ります。</p>	<p>○不法投棄防止推進事業</p>
<p>3 生活に身近な環境の美化</p> <p>◇市民一人ひとりが身近にある環境や自然に目を向けながら環境問題への認識を深めていくための、情報提供を図ります。</p> <p>◇ごみ排出量削減、リサイクル率向上を推進します。</p>	<p>◎環境教育及び啓発事業【重】</p>
<p>4 脱炭素化の推進</p> <p>◇循環型社会の構築による持続可能な地域づくりを進めます。</p> <p>◇カーボンニュートラルの実現に向け、市民、事業者に対する普及啓発に取り組みます。</p>	<p>○地球温暖化対策の普及・啓発</p>

主な関連計画

- 瑞穂市一般廃棄物処理基本計画
- 瑞穂市災害廃棄物処理計画
- 瑞穂市地球温暖化対策実行計画
- 瑞穂市環境都市宣言
- 瑞穂市ゼロカーボンシティ宣言
- 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標3

誰もが安心して暮らせる都市

⑦ 農業



本施策で目指す SDGs



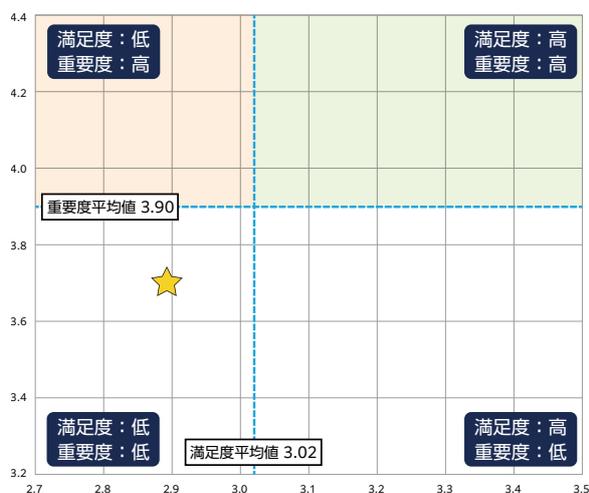
目指す姿

農業の担い手や後継者が育ち、安定的な農業経営が確立された都市
魅力ある特産品が生産・認知され、市民の「地産地消」が根づく都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
新瑞穂ブランド開発・発掘数	件 (累計)	2 (R3-R6年度の累計)	4 (R8-12年度の累計)
農地の集積率	%	39.95	40.00
認定新規就農者数	人 (累計)	6 (H27-R6年度の累計)	4 (R8-12年度の累計)

満足度・重要度 ※市民意識調査 (R6) より



農業

満足度	重要度
2.89	3.70

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに低くなっています。

農業経営への支援に取り組むとともに、本市で栽培される農作物の周知や安定した地産地消の推進等により農業に対する市民の理解と関心の向上を図っていく必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 特色ある「瑞穂農業」の促進</p> <p>◇「富有柿発祥の地」や特産品の積極的なPRや新商品開発・ブランド化を図ります。</p> <p>◇学校給食における地元農産物の利用等、地産地消を推進し、食育推進による食料自給率の向上を通じた地域の活性化を促進します。</p> <p>◇環境に配慮した有機農業を推進します。</p>	<p>○瑞穂ブランドのPR</p> <p>○瑞穂ブランド創出事業</p> <p>○地産地消推進事業</p>
<p>2 農地の再編・活用・適正保全</p> <p>◇宅地化により混在する農地等を整理（集積・集約）し、生産性の向上、生産コストの削減及び農地の適正な保全を図ります。</p>	<p>◎農地再編・集約化事業【重】</p> <p>○農業振興地域整備計画事業</p> <p>○地域計画事業</p>
<p>3 農業後継者の育成支援</p> <p>◇融資や補助金制度を活用した支援等により意欲ある担い手の確保や、新たな就農者を育成します。</p>	<p>○経営所得安定対策推進事業</p> <p>○農業次世代人材投資事業</p> <p>○元気の農業産地構造改革支援事業</p>

主な関連計画

- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 瑞穂農業振興地域整備計画
- 瑞穂市地域計画
- 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標3

誰もが安心して暮らせる都市

⑧ 商工業



本施策で目指す SDGs



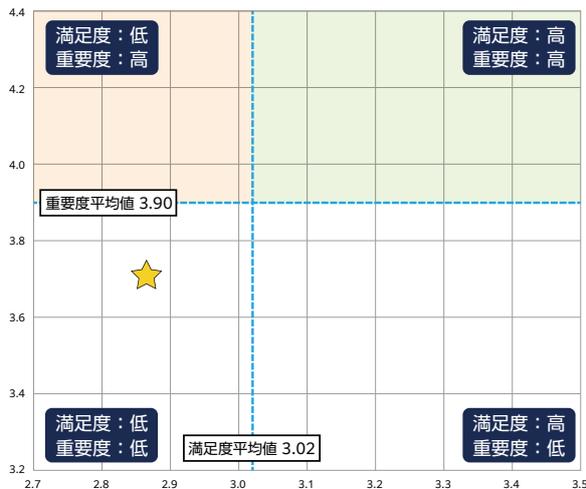
目指す姿

商工業の活性化により、雇用が創出されるとともに住民の利便性の向上が図られる都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
起業・創業者数	人	3人/年	12 (R8-12年度の累計)
企業誘致数	件 (累計)	3 (R3-6年度の累計)	4 (R8-12年度の累計)
ふるさと納税の返礼品提供事業者数	事業者	44	54

満足度・重要度 ※市民意識調査 (R6) より



商工業

満足度	重要度
2.87	3.71

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに低くなっています。

関係機関・団体と連携した市内事業所への支援や幹線道路沿い及び穂積駅周辺の商業機能の強化に努めるとともに、本市の交通の利便性を活かした企業誘致や起業・創業支援に取り組む必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 穂積駅周辺地域の商業活性化</p> <p>◇穂積駅利用者の利便性に即した駅周辺の新たな賑わいづくりについて、駅利用者の利便性向上とこれに連動する商機喚起による地域の再生・活性化を促進します。</p>	<p>○穂積駅圏域拠点化構想推進事業</p>
<p>2 企業誘致の促進</p> <p>◇雇用及び長期的な税収入を確保するため、各種調査の実施や、新たな企業の誘致を促進します。</p> <p>◇企業立地促進条例に基づく奨励措置により、本市に立地する企業への支援を実施します。</p> <p>◇交通利便性の高い場所を活用し、産業集積を推進します。</p>	<p>◎企業誘致活動【重】</p> <p>○企業立地奨励措置</p> <p>○地区計画の策定（再掲）</p>
<p>3 民間企業との連携・協働</p> <p>◇民間企業との緊密な連携及び協働により、地域の諸課題に対応し、地域の活性化及び市民サービスの向上を図ります。</p> <p>◇ふるさと納税制度の返礼品を活用し、市特産品の育成及び地域の活性化を図ります。</p>	<p>○地域活性化連携事業</p> <p>○ふるさと納税返礼品開発</p>
<p>4 創業者支援</p> <p>◇新たな雇用の創出と市のにぎわい・活気づくりの一助として、起業・創業を志す方への支援を行います。</p>	<p>○起業・創業者の育成支援事業</p>

主な関連計画

- 瑞穂市 JR 穂積駅圏域拠点化構想
- 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 瑞穂市都市計画マスタープラン

基本目標3

誰もが安心して暮らせる都市 ⑨ 交流・観光



本施策で目指す SDGs



目指す姿

地域ブランドや各種イベント等を活かした交流が活発な都市
地域資源の活用により市外の来訪者との交流が生まれる都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
交流人口（観光・交流入込客）	人／年	29,877	50,000
地域ブランド創出件数	件 (累計)	4 (R2-6年度累計)	5 (R8-12年度累計)
中山道ルートマップへのアクセス数	件／年	4,797	6,000

満足度・重要度 ※市民意識調査（R6）より



交流・観光

満足度	重要度
2.83	3.47

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに低くなっています。

本市の地域資源を活かしたブランドの創出や各種イベントによる賑わいづくり等により、市の魅力を広く周知し、人的交流や観光誘客につなげていく必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 新たな賑わいの創出</p> <p>◇犀川遊水地において、地域の歴史・文化を継承し、自然豊かで良好な水辺空間の活用による新たな地方創生の拠点として整備します。</p> <p>◇中山道大月多目的広場を中心に周辺施設と中山道沿線の地域資源の活用を図ります。</p> <p>◇民間企業、大学、市民や団体等が連携した官民協働型の地域拠点運営を図ります。</p>	<p>◎犀川遊水地グリーンインフラ事業【重】（再掲）</p> <p>◎中山道大月多目的広場及び周辺施設の活用【重】</p> <p>○下水処理場未利用地の活用検討</p>
<p>2 地域資源を活用した地域の魅力度向上</p> <p>◇特産品である「富有柿」や、市内を横断する「中山道」、「美江寺宿」等を活用するとともに広くPRを行い、まちの魅力や認知度を高め、移住や定住につながる地域資源のブランド化を図ります。</p> <p>◇歴史探訪ネットワークの形成や歴史文化資源の保全・活用を図ります。</p>	<p>○地域ブランド開発事業</p> <p>○地域ブランドに関する情報発信事業</p> <p>○中山道PR事業</p>
<p>3 地域と連携したイベント等の開催</p> <p>◇認知度が高い既存イベントをブラッシュアップし、瑞穂市の魅力を更に市内外へ発信します。</p>	<p>○みずほふれあいフェスタ</p> <p>○みずほ汽車まつり</p>
<p>4 移住・定住の促進</p> <p>◇ウェブサイトやSNSを活用し、移住や定住に関する情報を発信するとともに、安心して移住できるよう多面的な支援を行います。</p>	<p>◎移住定住支援事業【重】</p>

主な関連計画

●瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

●犀川遊水地グリーンインフラ基本構想

共通目標

市民とつくる持続可能な都市

① 行政運営



本施策で目指す SDGs



目指す姿

中長期的な視点から計画的な行財政運営が展開されている都市
行政評価により効率的な行財政運営が行われている都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
総合計画等評価審議会において「有効であった」と判断された事業の割合	%	100	100
岐阜連携都市圏の連携協約に基づき推進する具体的取組（瑞穂市が構成市町となっているもの）	件	48	54

満足度・重要度 ※市民意識調査 (R6) より



行政運営

満足度	重要度
2.88	3.81

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに低くなっています。

人口動向や土地利用の状況に応じた公共サービスの維持・充実に努めるとともに、デジタル技術の導入や人材確保等による時代に即した行政サービスの向上を図っていく必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 公共施設等の適正管理</p> <p>◇公共施設の老朽化や少子高齢化が進む現状を踏まえ、今後の公共施設のあり方を検討するとともに、長期的視点に立った計画的改修や長寿命化等による財政負担の軽減を図ることで、公共施設等の総合的な管理を推進します。</p> <p>◇新庁舎建設事業を推進するため「瑞穂市新庁舎建設基本計画」を策定し、計画に基づき新庁舎の建設を進めます。</p>	<p>○公共施設等総合管理計画推進事業</p> <p>◎新庁舎建設事業【重】</p>
<p>2 行政評価の充実と推進</p> <p>◇ニーズに即した行政サービスを継続的に提供するため行政評価制度により業務の改善を実施します。</p>	<p>○行政改革推進事業</p> <p>◎総合計画等評価事業【重】</p>
<p>3 組織体制の強化と人材育成</p> <p>◇多様化・高度化する行政需要に対応できる柔軟で機動的な組織体制の再編を進めます。</p> <p>◇分野横断的な課題に対しては組織機構の枠を超えた総合的かつ戦略的な対応ができる組織体制を構築します。</p> <p>◇職員研修の実施等、市職員としてふさわしい能力を持つ人材を育成します。</p>	<p>◎人材育成基本方針推進事業【重】</p>
<p>4 広域行政の推進</p> <p>◇新たな広域行政サービスの展開等、周辺自治体との連携を強化し、広域的視点に立った行政サービスを提供します。</p>	<p>○広域連携推進事業</p>

主な関連計画

- 瑞穂市公共施設等総合管理計画
- 瑞穂市行政改革大綱
- 瑞穂市新庁舎建設基本構想
- 岐阜連携都市圏ビジョン

共通目標

市民とつくる持続可能な都市

② 財政運営



本施策で目指す SDGs



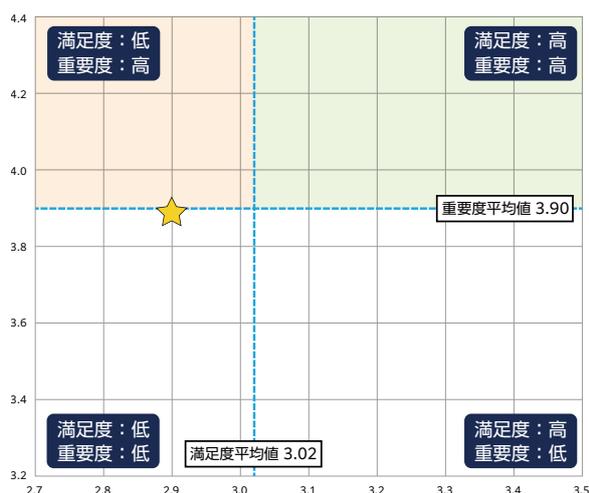
目指す姿

健全な財政状況のもと、バランスの取れた財政運営が行われている都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
財政力指数	-	0.71	0.75
実質公債費比率	%	1.6	3.0
標準財政規模に占める財政調整基金残高割合	%	18.6	20以上

満足度・重要度 ※市民意識調査 (R6) より



財政運営

満足度	重要度
2.90	3.89

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに低くなっています。

市民が安心して住み続けられるよう、本市の規模・様態に応じた安定的な財政運営に取り組む必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
1 計画的な財政運営 ◇市の財政状況を表す各指標の推移に留意しながら、財政運営を計画的に実施します。	○中期的な財政計画
2 適正な受益者負担と公有財産の管理 ◇公平性や受益者負担に基づき、費用負担の適正化に努めます。 ◇未利用地や活用見込みがない土地や建物等を処分、貸付ける等、公有財産の有効活用を推進します。	○公の施設に係る受益者負担の適正化
3 歳入確保策の強化 ◇ふるさと納税、ネーミングライツ、広告事業等、従来の税収以外による歳入策を強化します。	◎ふるさと納税の推進【重】
4 統一的な基準による地方公会計制度 ◇市民に分かりやすい情報を提供し、行財政の透明化を図ります。	○統一的な基準による財務書類4表の活用

主な関連計画

●瑞穂市財政シミュレーション

●瑞穂市行政改革大綱

共通目標

市民とつくる持続可能な都市

③ 協働



本施策で目指す SDGs



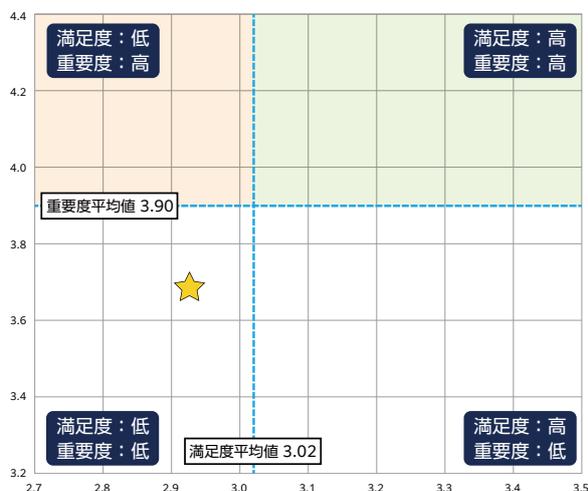
目指す姿

市政情報が効果的に発信され、市の魅力が広く周知されている都市
 行政と市民との協働・連携を進め、市民一人ひとりがまちづくりの主役となれる都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
広報の情報満足度 (「満足している」と答えた人の割合)	%	26.5	30
市Instagramアカウントのフォロワー数	人	816	1,600
教育機関、民間企業等との提携数	件 (累計)	7 (R3-6年度累計)	12 (R8-12年度累計)

満足度・重要度 ※市民意識調査 (R6) より



協働

満足度	重要度
2.93	3.69

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに低くなっています。

市政情報を適切に伝えて市民の関心を高めるとともに、こども・若者から高齢者まで、市民誰もがまちづくりに参画できる機会の提供に取り組む必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 魅力ある情報発信</p> <p>◇市政への関心を高めるため、広報紙、ウェブサイト、SNS等の多様な媒体により、市民に対してまちづくりや市政に関する情報を積極的に提供します。</p> <p>◇本市の良好な都市イメージを市内外へ戦略的に発信するため、SNSや対面イベントを活用したシティプロモーションを推進します。</p>	<p>◎情報発信の充実【重】</p> <p>○市ホームページのリニューアル</p>
<p>2 市民の参加・参画機会の充実</p> <p>◇市民の積極的な参加・参画を促し、市民のアイデアや意見の反映を促進し、市民のウェルビーイング向上を目指します。</p> <p>◇市民がそれぞれの立場でまちづくりに関わっていくためのステップアップの仕組みや参加・参画の新たな手法により、若い世代が参加しやすい環境づくりに努めます。</p>	<p>○幸せの黄色いポスト事業</p> <p>○まちづくり基本条例推進事業</p>
<p>3 まちづくりの担い手育成</p> <p>◇まちづくりの担い手と連携を進める職員に対し、まちづくり基本条例に関する研修等を実施し、協働への意識改革や能力の向上を図ります。</p> <p>◇市内や近隣の大学や高校等と協働し、地域の活性化や課題解決に取り組むとともに、地域で活躍する人材の育成や定着を図ります。</p>	<p>◎まちづくり基本条例推進事業【重】</p> <p>○大学等との連携協定に基づく事業</p>

主な関連計画

●瑞穂市まちづくり基本条例

●瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

共通目標

市民とつくる持続可能な都市

④ 情報



本施策で目指す SDGs



目指す姿

デジタル技術の活用により行政手続きが効率化された都市
 市政情報が適正に運用・管理されている都市

指標

指標	単位	現状値 (本計画策定時)	5年後 R12(2030)
IT パスポート取得率	%	0	30.0

満足度・重要度

※市民意識調査 (R6) より



情報

満足度	重要度
2.94	3.79

市民意識調査結果からの考察

市民の満足度・重要度ともに低くなっています。

市政情報について時代の流れに即した利活用に努めるとともに、市が保有するあらゆる情報の安全な運用と管理に取り組む必要があります。

施策の方向

施策内容	主な取組
<p>1 行政サービスの情報化推進</p> <p>◇ワンストップ行政サービス（総合窓口）で利用できる手続きの拡充や、電子申請システムの推進を図り、各種情報システム等の見直しを行うとともに、業務の流れや情報システム全体の最適化を図ります。</p> <p>◇個人番号カードには本人確認の手段としての利用に加え、多目的な利用が想定されていることから、マイナンバーカードの普及と行政サービスへの利活用を推進し、利便性の向上を図ります。</p>	<p>○行政サービス情報化推進事業</p> <p>○ぴったりサービス</p> <p>○マイナンバーカードの普及</p>
<p>2 自治体 DX の推進</p> <p>◇ AI・RPA 等の情報通信技術を活用した行政手続きの効率化を図ります。</p> <p>◇安全性を確保した上で生成 AI を活用し、事務の効率化を図ります。</p> <p>◇デジタルツールを有効に活用し、効率性を高めることができるデジタル人材の育成や組織編成に取り組みます。</p>	<p>◎ DX 推進事業【重】</p>
<p>3 情報セキュリティ体制の強化</p> <p>◇情報セキュリティ対策やその運用について、専門的知識を持った第三者が客観的に評価を行う「情報セキュリティ監査」を定期的実施します。</p> <p>◇システムへの不正アクセスや個人情報の漏洩防止等、市政や市民の情報を安全に守る体制を構築します。</p>	<p>○情報セキュリティ対策事業</p>

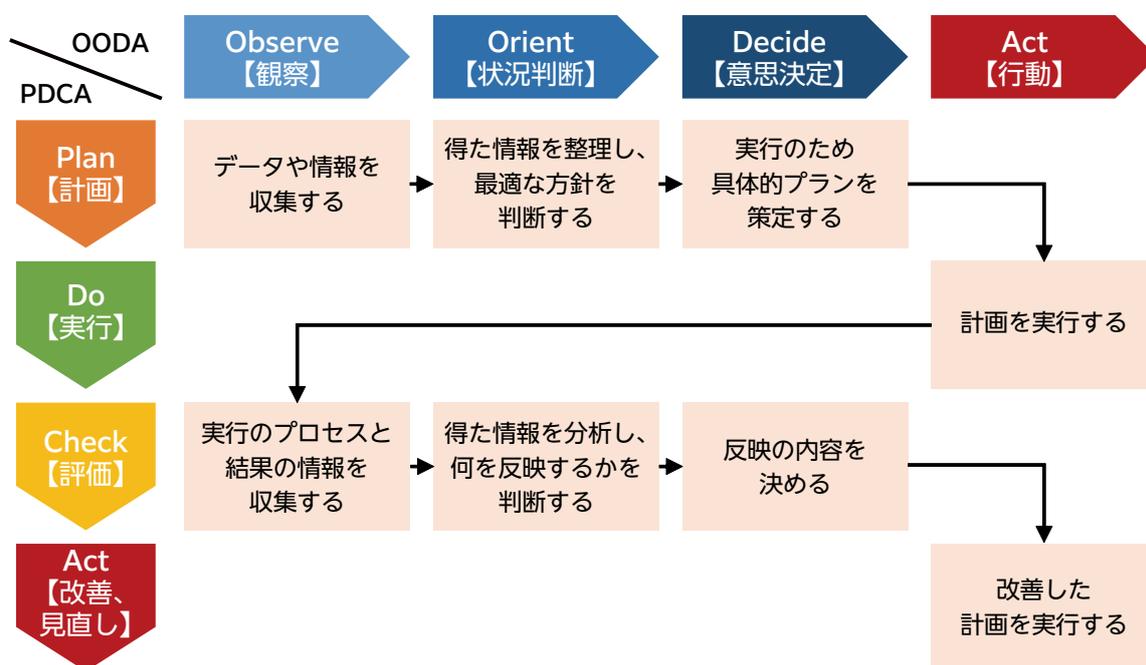
主な関連計画

- 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

計画の推進に向けて

本計画を推進していくためには、各施策に取り組んだうえで効果を検証し、目的が達成されるよう、改善していく必要があります。このため、行政資源を有効かつ効果的に活用し、効率的な行政を推進するため、PDCA サイクル^{*1}のプロセスを繰り返し行うとともに、社会情勢の変化に対して迅速に対応するため OODA ループ^{*2}の考えを取り入れます。

また、計画の実行や達成状況について、外部の有識者等による評価・検証を実施し、施策の改善や後期基本計画の策定につなげます。



* 1 PDCA サイクルは、業務改善において用いられる手法で、以下の4つのステップを繰り返すことで、プロセスを継続的に改善していきます。

- ① Plan (計画)：現状分析により課題を明確にし、数値目標等を設定した計画を策定します。
- ② Do (実行)：計画を実行に移します。実行中は、進捗記録やデータ収集が求められます。
- ③ Check (評価)：実行した結果を評価し、計画と実績の差異を確認します。
- ④ Act (改善、見直し)：評価の結果に基づいて、必要な改善策を講じます。

* 2 OODA ループは、PDCA サイクルとは異なる分析の枠組みです。PDCA サイクルと組み合わせることで、変化する状況に柔軟に対応し、適切な意思決定を行うことが可能になります。

- ① Observe (観察)：現在の状況を観察し、必要な情報を収集します。
- ② Orient (状況判断)：観察した情報を分析し、客観的に状況を評価します。
- ③ Decide (意思決定)：収集した情報を基に、具体的な行動方針を決定します。
- ④ Act (行動)：決定した方針に基づいて行動を起こします。

SDGs について

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) とは、平成27 (2015) 年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された令和12 (2030) 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

日本でも積極的に取り組まれており、本市も SDGs に参画できる取組を推進しています。



《SDGs における2030年までの17のゴール》

1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
4. すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
10. 各国内及び各国間の不平等を是正する
11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
12. 持続可能な生産消費形態を確保する
13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

■ SDGs と施策分野との関連性（一覧） ※施策分野ごとに該当する主な SDGs

		基本目標 1			基本目標 2									
		未来の夢と希望を育む都市			笑顔あふれる健やかな都市									
		① 子ども・若者	② 子育て支援	③ 学校教育	① 地域福祉	② 高齢者福祉	③ 障がい者福祉	④ 地域コミュニティ	⑤ 生涯学習・地域文化	⑥ 医療・健康	⑦ 人権・平和	⑧ 社会保障		
★ SDGs (17のゴール)														
1. 貧困をなくそう		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2. 飢餓をゼロに		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3. 健康と福祉		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4. 教育		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5. ジェンダー平等		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6. 安全な水の供給														
7. エネルギーの確保														
8. 雇用と経済成長				●										
9. 強靱なインフラ・産業の基盤整備														
10. 不平等の是正		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11. 安全な居住環境の整備		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
12. 生産と消費形態の確保														
13. 気候変動対策														
14. 海の豊かさの保全														
15. 陸の豊かさの保全														
16. 平和と公正の確保		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17. パートナーシップによる施策の推進		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標3									共通目標			
誰もが安心して暮らせる都市 ^{まち}									市民とつくる持続可能な都市 ^{まち}			
① 治水・防災	② 防犯・交通安全	③ 都市基盤	④ 交通基盤	⑤ 上水道・下水道	⑥ 自然・衛生環境	⑦ 農業	⑧ 商工業	⑨ 交流・観光	① 行政運営	② 財政運営	③ 協働	④ 情報
●					●	●	●					
●				●		●	●	●				
	●		●	●	●	●	●	●				
					●	●	●	●			●	
						●	●	●	●		●	
				●	●	●	●					
		●			●	●	●					
		●	●			●	●	●	●	●		
●		●	●	●		●	●	●	●	●		
						●	●	●				
●		●		●	●	●	●	●				
●				●	●	●	●	●				
●		●		●	●	●	●	●				
	●							●	●	●	●	●
●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●

財政の見通し

当市の人口増加は今後もしばらく見込まれますが、一方で子育て支援、高齢化対策、障がい者対策等に伴う扶助費等の増加に加え、公共施設等インフラの老朽化に伴う維持管理費、更新費の増加、教育のICT化に伴う教育費の増加等、中期的な視点に立った健全な財政運営の必要性が増しています。また、下水道整備、穂積駅周辺整備、庁舎建設等、市の発展のために不可欠な事業も本格化していき、計画的な財政運営が求められます。

そこで市の将来像の実現と、持続可能な都市経営を行うため、中長期的な財政収支見通し(財政シミュレーション)を示すこととします。ただし、市の財政を取り巻く環境は日々変化するため、当計画において計画期間中の数値を示すのではなく、毎年度見直しを行い、市ホームページに公開することとします。詳しくは以下のページをご覧ください。

瑞穂市ホームページ「財政シミュレーション」
<https://www.city.mizuho.lg.jp/12286.htm>

